

大学番号：009

注3

届出

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

北海道医療大学 リハビリテーション科学部  
理学療法学科・作業療法学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東日本学園  
平成27年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営企画部総務企画課
職名・氏名	カチョウ ミ ウラ セイ シ 課長 三 浦 清 志
電話番号	0133-22-2111
（夜間）	0133-23-1211
F A X	0133-23-1669
e-mail	soumu@hoku-iryo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部(平成◇◇年度より変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」  
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## リハビリテーション科学部

### <理学療法学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

### <添付資料>

FD委員会規程

### <作業療法学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	25
2. 授業科目の概要	29
3. 施設・設備の整備状況、経費	33
4. 既設大学等の状況	34
5. 教員組織の状況	35
6. 留意事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45

### <添付資料>

FD委員会規程

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東日本学園

## (2) 大学名

北海道医療大学

## (3) 大学の位置

〒061-0293

北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

- ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(トウゴウ シゲオキ) 東郷重興 (平成24年10月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ニイカワ ノリオ) 新川 詔夫 (平成22年4月)		
学部長	(イズミ タダフミ) 泉 唯史 (平成25年4月)		
学科長等		(スズキ ヒデキ) 鈴木英樹 (平成26年4月)	新たに理学療法学科長に就任 平成26年4月1日

( ) 書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
リハビリテーション科学部 理学療法学科 学士(理学療法)	4年	80人	2年次 5	335人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	80人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	80人 ( 5 ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	80人 ( 5 ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	1.12倍 (0.10倍)	-倍	
志願者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	670 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	986 ( 4 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	818 ( 3 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	655 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	983 ( 4 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	809 ( 3 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	141 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	180 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	186 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	97 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	83 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	91 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	-		1.21		1.03 (0.20)		1.13 ( - )				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。



(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	97人	2人	平成25年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学	0.02 %
			平成26年度	1人	0人	就学意欲の低下	
			平成27年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	84人	1人	平成26年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名)	0.01 %
			平成27年度	0人	0人		
平成27年度 入学者	91人	0人	平成27年度	0人	0人		0 %
合計	272人	3人					0.01 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                  ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<リハビリテーション科学部 理学療法学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手				
全 学 教 育 科 目	基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論）	1前	1				4			3 2			兼11 兼6 兼5	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(25)	
	文章指導（日本語の表現）	1前	1				4 3 4	1 0		0 4		2	兼6 兼5 兼6 兼5	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 講師から准教授に昇格(27) 教授1名就任済み(H25.10) 教授1名について就任遅延により兼任として担当することに変更(H25.10.1就任予定)	
	人間と思想（心理学）	1後		2										兼1	
	人間と思想（死生学入門）	1前		2										兼1	
	人間と思想（哲学入門）	1前		2										兼1	
	人間と社会（医療の経済学）	1後		2										兼1	
	人間と社会（医療の法学）	1後		2										兼1	
	人間と社会（国際社会福祉論）	3前		2										兼3	
	人間と文化（文化人類学）	1前		2										兼1	
	人間と文化（環境の歴史）	2前 未開講 2前 2後		2										兼1	通常開講(27) 履修希望者がいないため未開講(26) 全学教育科目の効果的配置に考慮し、開講時期を変更(26)
	人間と文化（国際文化比較論）	2前		2										兼3	
	自然と科学（生命科学）	1前		2										兼1	
	英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュA）	1前		1										兼4 兼3	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュB）	2前		1										兼3	
	英語Ⅱ（英語A）	1後		1										兼2 兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	英語Ⅱ（英語B）	2後		1										兼1	
	中国語（中国語）	1前		1										兼1	
	韓国語（韓国語）	1後		1										兼1	
	フランス語（フランス語）	未開講 2前 2後		1										兼1	履修希望者がいないため未開講(27) 全学教育科目の効果的配置に考慮し、開講時期を変更(26)
	ドイツ語（ドイツ語）	2前		1										兼1	
	情報処理演習（情報処理演習）	1前		1										兼2 兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	統計学（基礎統計学）	3前		2										兼1	
	健康・運動科学演習（運動科学演習）	1通		2				1				1 0		兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(25)
	自然科学入門（基礎数理）	1前		1										兼2 兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	自然科学入門（物理学）	1後		2										兼1	
	自然科学入門（生物学）	1後		2										兼1	
自然科学入門（化学）	1後		2										兼1		
個体差健康科学（個体差健康科学）	1前		2				1 2 0			1 0			兼28 兼30 兼15	全学教育科目として科目内容の見直しにより担当変更(27) 全学共通科目として内容の見直しにより教員を追加(26)	
医療倫理（医療倫理）	1後		2										兼2 兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
地域連携（地域包括ケア演習）	3前		1				4			1	1		兼5		
地域連携（メンタルカフェをつくるⅠ）	2前		1										兼7 兼8 兼5	全学教育科目として科目内容の見直しにより担当変更(27) 全学共通科目として内容の見直しにより教員を追加(26)	

	多職種連携（多職種連携論）	3前	1			4	10	12			兼13 兼5	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 講師から准教授に昇格(27)
専門 基礎 科目	解剖学Ⅰ	1前	1			1					兼2	
	解剖学Ⅱ	1後	1			1					兼2	
	解剖学実習	2前	1			2 +					兼6 兼5 兼2	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
	生理学Ⅰ	1前	1								兼1	
	生理学Ⅱ	1後	1								兼1	
	生理学実習	1後	1			1	10	12	3 +		兼6	講師から准教授に昇格(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	運動生理学	2前	1				10	0 +				講師から准教授に昇格(27)
	運動学Ⅰ	1後	1			1						
	運動学Ⅱ	2前	1			1						
	運動学実習	2後	1			2 +	10	0 +	2 +		兼4 兼3	講師から准教授に昇格(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	老年学	2前	1								兼3 兼2	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
	人間発達学	2前	1			1					兼1	
	医学概論	1前	1								兼1	
	病理学	2前	1								兼3 兼2	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	整形外科学	2前	2			10					兼0 兼+	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
	内科学	2後	2								兼4	
	神経学	2後	2								兼1	
	小児科学	2後	1								兼1	
	精神医学	2前	2								兼1	
	病態運動学	2後	1			3						
	高次脳機能障害学	2後		1							兼1	
	臨床心理学	2後	1								兼1	
	薬理学	2後		1							兼3 兼+	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
	公衆衛生学	2後	1								兼2	
	栄養学	2後		1					10		兼1 兼2 兼+	効果的配置を考慮し変更(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
	リハビリテーション概論	1前	2			1					兼3 兼+	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	保健医療福祉論	3前	1			1					兼3	
	障がい者当事者論	2前	1			1					兼1	
	作業療法概論	1前		2							兼9 兼8	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	作業適用学	1後		2							兼9 兼8	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	積雪寒冷地の生活と諸問題	3通	1			1					兼1 兼0	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	理学療法概論	1前	2			2						
基礎理学療法学	1後	2			5 6 5			30			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
理学療法管理・運営論	4後	1			1							
理学療法研究法	3前	2			1			10			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
理学療法英文原著読解	2通	2			8	10	34	52 +			講師から准教授に昇格(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
医療コミュニケーション	3後	1			7	10	24	2 +			講師から准教授に昇格(27) 効果的配置を考慮し変更(27)	
理学療法基礎評価学Ⅰ	2通	2			2	10	12	20			講師から准教授に昇格(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
理学療法基礎評価学Ⅱ	2通	2			3			2 +			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
理学療法評価学総合演習	2後	1			7	10	3	4 +			講師から准教授に昇格(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	



専 門 科 目	画像診断学	3 後	1			1 0					兼 0 兼 1	教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	物理療法学	3 前	2			1	1 0	1	1			教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	運動療法学Ⅰ	2 前	1			1	1 0	0 2				講師から准教授に昇格 (27)
	運動療法学Ⅱ	2 後	1			1	1 0	0 1	1			講師から准教授に昇格 (27)
	義肢装具学Ⅰ	2 後	1			2		1 0			兼 4 兼 3	教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (26)
	義肢装具学Ⅱ	3 前	1			2					兼 1 兼 3	効果的配置を考慮し変更 (27)
	日常生活動作学Ⅰ	2 前	1			2		1				
	日常生活動作学Ⅱ	2 後	1			2		1				
	骨関節障害理学療法学	3 前	2			1		1 0				教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	骨関節障害理学療法学演習	3 後	2			1		2				
	神経障害理学療法学	3 前	2			1				1		
	神経障害理学療法学演習	3 後	2			1		1	1			
	発達障害理学療法学	3 前	2			1						
	発達障害理学療法学演習	3 後	2			1		1				
	内部障害理学療法学	3 前	2			2		1 0				教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	内部障害理学療法学演習	3 後	2			2		1				
	理学療法治療学総合演習	3 後	1			7	1 0	3 2	4 1			講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	スポーツ障害理学療法論	3 後		1							兼 2	
	ハンドセラピー	3 前		1							兼 1	
	神経筋促通治療論	3 後		1		1					兼 2 兼 1	教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	徒手療法論	3 後		1				1 0			兼 1	教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	リハビリテーション工学	3 前		1							兼 3 兼 2	教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	地域理学療法学	3 前	2			1						
	地域理学療法学演習	3 後	1			1		1				
	生活環境論	3 前	1			1		1				
	国際協力と理学療法	4 後		2				1				
	健康増進と理学療法	4 後		1		1		1				
	障害者スポーツ指導論	4 後		1		1					兼 3	
	臨床実習Ⅰ	1 通	1			7	1 0	3	4 1			講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	臨床実習Ⅱ	2 後	2			7	1 0	3 4	4 1		兼 0 兼 2	講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	臨床実習Ⅲ	3 後	6			7	1 0	3 4	4 1			講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
	臨床実習Ⅳ	4 前	8			7	1 0	3 4	4 1			講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)
臨床実習Ⅴ	4 前	3			7	1 0	3 4	4 1			講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27)	
理学療法総合講義	4 後	1			8	1 0	3 4	1			講師から准教授に昇格 (27)	
理学療法研究セミナーⅠ	3 通	2			8	1 0	3 4	5 1 2			講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (25)	
理学療法研究セミナーⅡ	4 通	2			8	1 0	3 4	5 1 2			講師から准教授に昇格 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (27) 教育指導体制の充実を図るため 教員を追加 (25)	
択自 科目 目選	音楽療法	3 前			1 0					兼 2 兼 0	教育の充実を図るため自由 択科目を追加 (27)	

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
76	32	0	108	76	32	1 0	109 108	音楽療法を追加(27)
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  共用：歯学部附属歯科 衛生士専門学校収容定 員150名 面積基準なし					
	校舎敷地	64,222.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	65,872.53㎡						
	運動場用地	27,800.00㎡	0㎡	0㎡	27,800.00㎡						
	小 計	92,022.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	93,672.53㎡						
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	0㎡	57,315.74㎡						
	合 計	149,338.27㎡	1,650.00㎡	0㎡	150,988.27㎡						
(2) 校 舎	専 用	72,110.27㎡ 72,209.57㎡	0㎡	0㎡	72,110.27㎡ 72,209.57㎡	大学全体  校舎増築部分の登記に より面積変更(25)					
	(72,110.27㎡) (72,209.57㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(72,110.27㎡) (72,209.57㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	48 43室	演 習 室	51 34室	実験実習室	51 44室	情報処理学習施設	2 1室	語学学習施設	2室	大学全体  改修による増室 (27)
							(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						教員増による増室 (27)
	リハビリテーション科学部 理学・作業療法学科				18 16		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	機 械 ・ 器 具 数 の 増 加 及 び 標 本 数 の 廃 棄 に よ る 減 少 (26) (27)  機 械 ・ 器 具 ・ 標 本 数 の 増 加 (25)  図書は電子ブックを含む (26) 学術雑誌は、冊子から電 子ジャーナルへ移行し、利便 性を高めている(26)			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル							
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点					
	リハビ <sup>レ</sup> テーション科学部	257,332 [81,104] (357,846 [194,956]) <del>(348,898 [185,948])</del> <del>(239,840 [78,380])</del>	2,869 [1,118] (2,423 [1,204]) <del>(2,630 [1,209])</del> <del>(2,696 [1,216])</del>	4,185 [3,270] (7,673 [6,034]) <del>(8,749 [7,169])</del> <del>(5,300 [4,379])</del>	6,244 (6,731) <del>(6,565)</del> <del>(5,906)</del>	93,107 98,098 98,014 98,020	2,165 2,276 2,500 2,208				
計	257,332 [81,104] (357,846 [194,956]) <del>(348,898 [185,948])</del> <del>(239,840 [78,380])</del>	2,869 [1,118] (2,423 [1,204]) <del>(2,630 [1,209])</del> <del>(2,696 [1,216])</del>	4,185 [3,270] (7,673 [6,034]) <del>(8,749 [7,169])</del> <del>(5,300 [4,379])</del>	6,244 (6,731) <del>(6,565)</del> <del>(5,906)</del>	93,107 98,098 98,014 98,020	2,165 2,276 2,500 2,208					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体  閲覧席を増設したため (25) (27)				
	4,866.96 ㎡		461 445 437 席		275,000 冊						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体				
	1,746.49㎡		屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート (27,800㎡) フィットネスセンター (411㎡)								
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	届出学部全体  共同研究費については大学全体		
		教員1人当たり研究費等	451千円	448千円	図書購入費	4,200千円	2,600千円	2,040千円			
	共 同 研 究 費 等	23,000千円	23,000千円	設 備 購 入 費	246,402千円	123,304千円	20,000千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。			
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次				
	1,325千円	1,325千円	1,325千円	1,325千円	千円	千円					
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要		私立大学経常費補助金・雑収入等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次	人		倍		
薬学部 薬学科	6	160	3年次 10	980	学士 (薬学)	1.15	平成18年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
歯学部 歯学科	6	80	—	520	学士 (歯学)	0.66	昭和53年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
看護福祉学部 看護学科	4	100	3年次 9	418	学士 (看護学)	1.11	平成5年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
臨床福祉学科	4	80	3年次 9	338	学士 (臨床福祉学)	1.00	平成14年度	
心理科学部 臨床心理学科	4	75	3年次 2	304	学士 (臨床心理学)	0.99	平成14年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
言語聴覚療法学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚療法)	—	平成14年度	平成27年度より学生募集停止
リハビリテーション科学部 理学療法学科	4	80	2年次 5	250	学士 (理学療法)	1.12	平成25年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1758番地
作業療法学科	4	40	2年次 5	130	学士 (作業療法)	1.13	平成25年度	
言語聴覚療法学科	4	60	—	60	学士 (言語聴覚療法)	1.15	平成27年度	
薬学研究科 生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士 (生命薬科学)	0.00	平成22年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
薬学専攻博士後期課程(3年)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	昭和57年度	3年課程平成24年度より学生募集停止
薬学専攻博士課程(4年)	4	3	—	12	博士 (薬学)	1.08	平成24年度	
歯学研究科 歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.50	昭和63年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
看護福祉学研究科 看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	1.10	平成9年度	
看護学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	1.66	平成11年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
臨床福祉学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.90	平成16年度	
臨床福祉学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.16	平成16年度	
心理科学研究科 臨床心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (臨床心理学)	1.00	平成16年度	
臨床心理学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.83	平成16年度	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目
言語聴覚学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (言語聴覚学)	0.10	平成18年度	
言語聴覚学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (言語聴覚学)	0.00	平成18年度	
リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成25年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
リハビリテーション科学専攻博士課程	3	2	—	2	博士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成27年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A/C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・A/C対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション科学部 理学療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	泉 唯史 (57)	平成25年4月	専	教授	泉 唯史 (58)	平成25年4月	<p>全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (26)</p> <p>教育者等体制の充実を図るため担当者を追加 (26)</p> <p>担当教員の見直しにより担当解除 (27)</p> <p>全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (26)</p> <p>全学共通科目として科目内容の見直しにより担当解除 (27)</p>
専	教授	小島 悟 (43)	平成25年4月					
専	教授	鈴木 英樹 (46)	平成25年4月	専	教授	鈴木 英樹 (48) (←47→)	平成25年4月	

専	教授	吉田 晋 ( 46 )	平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 運動療法Ⅰ 運動療法Ⅱ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	専	教授	吉田 晋 ( 48 ) (←46→)	平成25年10月 平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 運動療法Ⅰ 運動療法Ⅱ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	専	教授	吉田 晋 ( 48 ) (←46→)	平成25年10月	文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 運動療法Ⅰ 運動療法Ⅱ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	平成25年4月 補職俸給により、教任が補職 (26) 平成25年10月 専任教授教任(27) ※前年度履修遅れ
専	教授	堀本 佳彦 ( 38 )	平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 地域連携（地域包括ケア演習） 人間発達学 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法研究法 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	専	教授	堀本 佳彦 ( 39 )	平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 地域連携（地域包括ケア演習） 人間発達学 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法研究法 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ 解剖学実習	専	教授	堀本 佳彦 ( 39 )	平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 地域連携（地域包括ケア演習） 人間発達学 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法研究法 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	教育指導体制の充実を図るため履修者 を減加(28)
専	教授	武田 涼子 ( 43 )	平成27年4月	多職種連携（多職種連携論） 義肢装具学Ⅱ 骨関節障害理学療法学 骨関節障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	専	教授	武田 涼子 ( 43 )	平成27年4月	多職種連携（多職種連携論） 義肢装具学Ⅱ 骨関節障害理学療法学 骨関節障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	専	教授	武田 涼子 ( 43 )	平成27年4月	多職種連携（多職種連携論） 義肢装具学Ⅱ 骨関節障害理学療法学 骨関節障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	
兼任	講師	武田 涼子 ( 41 )	平成25年4月	基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論） 運動学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅰ 理学療法評価学総合演習 義肢装具学Ⅰ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	専	教授	武田 涼子 ( 43 )	平成27年4月	基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論） 運動学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅰ 理学療法評価学総合演習 義肢装具学Ⅰ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	兼任	講師	武田 涼子 ( 43 )	平成27年4月	基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論） 運動学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅰ 理学療法評価学総合演習 義肢装具学Ⅰ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ	平成27年4月 専任教授教任(27)

	専 教授	高橋 尚明 ( 43 )	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 解剖学 I 解剖学 II 解剖学実習 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学 II 理学療法評価学総合演習 義肢装具学 I 義肢装具学 II 日常生活動作学 I 日常生活動作学 II 内部障害理学療法学 内部障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 神経筋促進治療論 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II					
	専 教授				専 教授	青木 光広 ( 60 ) ( -59 )	平成26年4月	整形外科学 画像診断学	平成26年4月 教育指導体制の充実を図るため、教員 を追加 (26) 平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、担 当者を変更 (27)
	専 教授	山口 明彦 ( 50 )	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 健康・運動科学演習 (運動科学演習) 多職種連携 (多職種連携論) 理学療法英文原著読解 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II					
	専 講師	宮崎 充功 ( 34 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 運動生理学 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学 I 理学療法評価学総合演習 物理療法学 運動療法学 I 運動療法学 II 理学療法治療学総合演習 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II	専 准教授	宮崎 充功 ( 36 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 運動生理学 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学 I 理学療法評価学総合演習 物理療法学 運動療法学 I 運動療法学 II 理学療法治療学総合演習 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II	平成27年4月 昇格 (27)
	専 講師	澤田 篤史 ( 35 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論) 骨関節障害理学療法学演習 神経障害理学療法学演習 発達障害理学療法学演習 内部障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 健康増進と理学療法 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II	専 講師	澤田 篤史 ( 36 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論) 骨関節障害理学療法学演習 神経障害理学療法学演習 発達障害理学療法学演習 内部障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 健康増進と理学療法 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II 内部障害理学療法学	教育指導体制の充実を図るため、担 当者を追加 (27)
	兼任 講師	澤田 篤史 ( 33 )	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法評価学総合演習 運動療法学 I 臨床実習 I 臨床実習 II	専 兼任 講師	澤田 篤史 ( 36 ) ( -35 )	平成27年4月 平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法評価学総合演習 運動療法学 I 臨床実習 I 臨床実習 II 栄養学	平成27年4月 専任講師兼任 (27) 専任講師の昇進により担当解除 (27) 教育指導体制の充実を図るため担 当者を追加 (26)



専	講師	長谷川 純子 ( 32 )	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学 I 理学療法評価学総合演習 日常生活動作学 I 日常生活動作学 II 理学療法治療学総合演習 地域理学療法演習 生活環境論 国際協力と理学療法 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II						
専	講師	佐々木 祐二 ( 43 )	平成26年4月	理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 骨関節障害理学療法演習 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II	専	講師	佐々木 祐二 ( 44 ) ( - 42 - )	平成26年4月	理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 骨関節障害理学療法演習 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II 基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 個体差健康科学 (個体差健康科学) 臨床実習 I 理学療法評価学総合演習 義肢装具学 I 物理療法学 骨関節障害理学療法学 理学療法治療学総合演習 徒手療法論	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (26) 全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (26) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
専	助教	大塚 裕之 ( 29 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学 II 理学療法評価学総合演習 物理療法学 運動療法学 II 神経障害理学療法学 神経障害理学療法演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II						
					専	助教	井上 恒志郎 ( 29 ) ( - 28 - ) ( - 27 - )	平成25年4月	健康・運動科学演習 (運動科学演習) 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II 理学療法英文原著読解 文章指導 (日本語の表現)	平成25年4月 教育指導体制の充実を図るため、教員を追加 (25) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (26) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
					専	助教	中村 宅雄 ( 37 )	平成27年4月	運動学実習 基礎理学療法学 理学療法基礎評価学 I 理学療法研究法 理学療法英文原著読解 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法評価学総合演習 理学療法治療学総合演習	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、教員を追加 (27)

											生理学実習 基礎理学療法 理学療法基礎評価Ⅰ 日常生活動作Ⅱ 理学療法英文原著読解 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法評価学総合演習 理学療法治療学総合演習	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、教員を追加 (27)
											生理学実習 基礎理学療法 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価Ⅱ 理学療法英文原著読解 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法評価学総合演習 理学療法治療学総合演習	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、教員を追加 (27)
兼担	教授	新川 詔夫 ( 70 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼担	教授	新川 詔夫 ( 71 )	平成25年4月				全学共通科目として科目内容の見直しにより組織変更 (26)
兼担	教授	鎌田 樹寛 ( 53 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) リハビリテーション概論 作業療法概論 作業適用学								
兼担	教授	本家 寿洋 ( 45 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 運動学実習 作業療法概論 作業適用学 神経筋促進治療論 リハビリテーション工学								
兼担	教授	上野 武治 ( 70 )	平成26年4月	多職種連携 (多職種連携論) 神経学 精神医学 高次脳機能障害学								
兼任	講師	上野 武治 ( 69 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 医学概論 リハビリテーション概論	兼担	教授	上野 武治 ( 71 )	平成26年4月	文章指導 (日本語の表現) 医学概論 リハビリテーション概論			平成26年4月 兼任教授兼任 (27) 来年度履修届け
兼担	教授	国永 史朗 ( 62 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 自然と科学 (生命科学) 自然科学入門 (生物学) 地域連携 (地域包括ケア演習) 地域連携 (地域包括ケアをつくるⅠ)								
兼担	教授	江口 正尊 ( 64 )	平成25年4月	人間と思想 (死生学入門) 医療倫理 (医療倫理)	兼担	講師	碓部 太一 ( 34 )	平成26年4月	人間と思想 (死生学入門) 医療倫理 (医療倫理)			平成26年3月 江口正尊教授退職のため平成26年度より組織変更 (26)
兼担	教授	小野 滋男 ( 64 )	平成25年4月	人間と思想 (哲学入門)	兼担	講師	森元 良太 ( 38 )	平成26年4月	人間と思想 (哲学入門) 医療倫理 (医療倫理) 地域連携 (地域包括ケアをつくるⅠ)			平成26年3月 小野滋男教授退職のため平成26年度より組織変更 (26) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (26) 全学共通科目として科目内容の見直しにより組織変更 (27)
兼担	教授	半田 祐二郎 ( 60 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (国際文化比較論)			後任未定		個体差健康科学 (個体差健康科学) 人間と社会 (国際社会福祉論)			平成27年3月 半田祐二郎教授退職のため組織変更を調整中 (27)
兼担	教授	Howard Neal Tarnoff ( 60 )	平成25年4月	人間と文化 (国際文化比較論) 英語Ⅰ (オーストラリアA) 英語Ⅰ (オーストラリアB)	兼任	講師	後藤 道 ( 66 )	平成27年4月	人間と文化 (国際文化比較論)			平成27年3月 半田祐二郎教授退職のため平成27年度より組織変更 (27)
兼担	教授	森田 勲 ( 58 )	平成25年4月	健康・運動科学演習 (運動科学演習)								
兼担	教授	塚越 博史 ( 52 )	平成25年4月	英語Ⅱ (英語A)								
兼担	教授	橋本 昇 ( 63 )	平成25年4月	自然科学入門 (物理学)	兼担	専任教授	長谷川 敦司 ( 51 )	平成27年4月	自然科学入門 (物理学)			平成27年3月 橋本 昇教授退職のため平成27年度より組織変更 (27)
兼担	教授	黒澤 隆夫 ( 62 )	平成25年4月	自然科学入門 (化学)	兼担	講師	鈴木 喜一 ( 44 )	平成27年4月	自然科学入門 (化学)			担当教員の見直しにより組織変更 (27)
兼担	教授	坂倉 康則 ( 58 )	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習								
兼担	教授	入江 一元 ( 52 )	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習								
兼担	教授	石井 久淑 ( 42 )	平成25年4月	生理学実習								

兼担	教授	山田 律子 (47)	平成26年4月	老年学							
兼担	教授	安彦 香裕 (53)	平成26年4月	病理学							
兼担	教授	冢子 正裕 (59)	平成26年4月	内科学							
兼担	教授	伊藤 昭英 (53)	平成26年4月	内科学				後任未定		内科学	平成27年3月 伊藤昭英教授退職のため組織変更調整 中(27)
兼担	教授	谷村 明彦 (51)	平成26年4月	薬理学							
兼担	教授	千葉 造朗 (58)	平成26年4月	公衆衛生学							
兼担	教授	廣重 力 (82)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	廣重 力 (83)	平成25年4月			全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
兼担	教授	坂野 雄二 (62)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	坂野 雄二 (64)	平成25年4月			全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
兼担	教授	中山 英二 (54)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	中山 英二 (56)	平成25年4月			全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
兼担	教授	小林 正伸 (60)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	小林 正伸 (62)	平成25年4月			全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
兼担	教授	向谷地 生良 (57)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	向谷地 生良 (58)	平成25年4月			全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
					兼担	教授	唯野 貴司 (64) <del>(63)</del>	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	越野 寿 (53)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
					兼担	教授	青藤 正人 (47)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
					兼担	教授	大友 芳恵 (56)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
					兼担	教授	志水 幸 (51) <del>(50)</del>	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	今井 智子 (60)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
					兼担	教授	亀井 尚 (62)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
					兼担	教授	木下 憲治 (53) <del>(57)</del>	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	堀内 ゆかり (51) <del>(50)</del>	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	富家 直明 (44)	平成26年4月	地域連携(メディア制作をつくるI)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(26)
					兼担	教授	鈴木 一郎 (49)	平成27年4月	地域連携(メディア制作をつくるI)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	下村 敦司 (47)	平成27年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論)		教育指導体制の充実を図るため、組織 変更(27)
					兼担	教授	和田 啓爾 (62)	平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	遠藤 泰 (56)	平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	高藤 隆史 (50)	平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	平 典子 (62)	平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	中野 倫仁 (57)	平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	高橋 憲男 (68)	平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	大原 裕介 (35)	平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)		全学共通科目として科目内容の見直し により組織変更(27)
					兼担	教授	三國 久美 (54)	平成27年4月	多職種連携(多職種連携論)		教育指導体制の充実を図るため、組織 変更(27)
					兼担	教授	大友 芳恵 (57)	平成27年4月	多職種連携(多職種連携論)		教育指導体制の充実を図るため、組織 変更(27)
兼担	准教授	浅野 雅子 (38)	平成25年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携論) 作業療法概論 作業適応学	兼担	准教授	浅野 雅子 (40)	平成25年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携論) 作業療法概論 作業適応学 音楽療法		平成27年4月 教育の充実を図るため、自由選択科目 を追加(27)
					兼担	准教授	鈴木 由美 (53)	平成27年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 多職種連携(多職種連携論) 作業療法概論 作業適応学 運動学実習 神経筋促進治療論		教育指導体制の充実を図るため、組織 変更(27)
					兼担	准教授	近藤 里美 (53)	平成27年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 音楽療法		教育指導体制の充実を図るため、組織 変更(27) 平成27年4月 教育の充実を図るため、自由選択科目 を追加(27)
兼担	准教授	花濤 馨也 (46)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(文化人類学) 人間と文化(国際文化比較論)	兼担	教授	花濤 馨也 (46)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(文化人類学) 人間と文化(国際文化比較論)		平成25年4月 昇格(26)
兼担	准教授	柳田 寛 (63)	平成26年4月	フランス語(フランス語)	兼任	講師	柳田 寛 (64)	平成27年4月	フランス語(フランス語)		平成27年3月 柳田 寛教授退職のため平成27年度 より兼任講師として組織(27)

兼担	准教授	二瓶 裕之 ( 47 )	平成25年4月	情報処理演習 (情報処理演習)	兼担	教授	二瓶 裕之 ( 50 ) (← 49 →)	平成25年4月	情報処理演習 (情報処理演習) 自然科学入門 (基礎数理)	平成26年4月 昇格 (26) 教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)
					兼担	講師	高山 彰文 ( 44 )	平成27年4月	情報処理演習 (情報処理演習) 統計学 (基礎統計学)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)
兼担	准教授	石田 朗 ( 48 )	平成25年4月	統計学 (基礎統計学) 自然科学入門 (基礎数理)	兼任	講師	橋本 昇 ( 66 )	平成27年4月	自然科学入門 (基礎数理)	平成27年3月 石田 朗が教職退職のため平成27年度 より担当者の変更 (27)
兼担	准教授	長谷川 聡 ( 58 )	平成26年4月	地域連携 (びんがたをつくる I)						
兼担	准教授	長田 和美 ( 53 )	平成25年4月	生理学実習						
兼担	准教授	萩野 悦子 ( 49 )	平成26年4月	老年学						
兼担	准教授	高橋 伸彦 ( 44 )	平成26年4月	内科学						
兼担	准教授	太田 亨 ( 49 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 小児科学	兼担	教授	太田 亨 ( 51 ) (← 50 →)	平成25年4月	<del>個体差健康科学 (個体差健康科学)</del> 小児科学	平成25年7月 昇格 (26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (27)
兼担	准教授	北市 伸義 ( 44 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼担	教授	北市 伸義 ( 45 )	平成25年4月		平成25年7月 昇格 (26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (28)
					兼担	准教授	後任未定 千葉一憲 (← 61 →)	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (28)
					兼担	准教授	竹生 礼子 ( 54 )	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (28)
					兼担	准教授	田村 至 ( 54 ) (← 53 →)	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) リハビリテーション概論	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (28) 教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)
					兼担	准教授	玉重 詠子 ( 55 )	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (28)
					兼担	准教授	榎原 健一 ( 47 )	平成27年4月	文章指導 (日本語の表現)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)
					兼担	准教授	森 伸幸 ( 52 )	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (27)
					兼担	准教授	阿部 博史 ( 41 )	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (27)
					兼担	准教授	巻 康弘 ( 48 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)
兼担	講師	浅野 葉子 ( 40 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 運動学実習 障がい者当事者論 作業療法概論 作業適学	兼担	講師	浅野 葉子 ( 43 ) (← 42 →)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 運動学実習 障がい者当事者論 作業療法概論 作業適学 個体差健康科学 (個体差健康科学) 積雪寒冷地の生活と諸問題	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (28) 教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)
兼担	講師	朝日 まどか ( 37 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 作業療法概論 作業適学						
兼担	講師	澤村 大輔 ( 34 )	平成26年4月	地域連携 (地域包括ケア演習) 義肢装具学 I 義肢装具学 II リハビリテーション工学	兼担	講師	澤村 大輔 ( 35 )	平成26年4月	地域連携 (地域包括ケア演習) 義肢装具学 I 義肢装具学 II リハビリテーション工学 個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (28)
兼任	講師	澤村 大輔 ( 33 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 生理学実習 作業療法概論 作業適学	兼担	講師	澤村 大輔 ( 36 )	平成26年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 生理学実習 作業療法概論 作業適学	平成26年4月 兼任講師兼任 (27) 来年度年度報告書提出
兼担	講師	千葉 芳広 ( 45 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (環境の歴史) 地域連携 (びんがたをつくる I)	兼担	講師	千葉 芳広 ( 47 ) (← 46 →)	平成25年4月	<del>個体差健康科学 (個体差健康科学)</del> 人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (環境の歴史) 地域連携 (びんがたをつくる I)	平成25年4月 教育指導体制の充実を図るため基礎ゼ ミナール (コミュニケーション実践論) に教員 を追加 (26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (27)
兼担	講師	木村 恵 ( 39 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 運動学実習 人間発達学 作業療法概論 作業適学	兼担	講師	木村 恵 ( 41 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 運動学実習 人間発達学 作業療法概論 作業適学 リハビリテーション工学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)

兼任	講師	櫻井 潤 ( 35 )	平成25年4月	人間と社会 (医療の経済学)							
兼任	講師	森元 拓 ( 43 )	平成25年4月	人間と社会 (医療の法学)	兼任	講師	姫嶋 瑞穂 ( 36 )	平成25年4月	人間と社会 (医療の法学)	平成24年8月 新元 拓講師退職のため平成25年度より 担当者の変更 (25)	
兼任	講師	新岡 文治 ( 38 )	平成26年4月	地域連携 (ｲﾝﾌﾙｴﾝｽをつくるI)	兼任	講師	新岡 文治 ( 38 )	平成26年4月		全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (26)	
兼任	講師	岸本 憲明 ( 43 )	平成26年4月	内科学	兼任	講師	後任未定	平成26年4月	内科学	平成25年3月 岸本憲明講師退職のため平成25年度より 担当者の変更 (26) 平成26年4月 平成25年度は秋野正敏兼任講師が担当 (27) 平成27年4月 医師日誌の調査が困難となったため、 担当者を調査中 (27)	
兼任	講師	水谷 博幸 ( 55 )	平成26年4月	公衆衛生学							
兼任	講師	荒川 俊哉 ( 50 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 栄養学	兼任	准教授	荒川 俊哉 ( 52 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 栄養学	平成26年7月 昇格 (27)	
兼任	講師	大澤 宣明 ( 44 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼任	准教授	大澤 宣明 ( 45 )	平成25年4月		平成26年4月 昇格 (26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (26)	
兼任	講師	浜上 尚也 ( 49 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼任	准教授	浜上 尚也 ( 50 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	平成26年4月 昇格 (26)	
					兼任	講師	櫻田 渉 ( 47 )	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (26)	
					兼任	講師	吉田 栄一 ( 56 ) ( <del>56</del> )	平成26年4月	<del>個体差健康科学 (個体差健康科学)</del>	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (27)	
					兼任	講師	豊下 祥史 ( 40 )	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (26)	
					兼任	講師	宮崎 友香 ( 41 )	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (26)	
					兼任	講師	内ヶ島 伸也 ( 41 )	平成26年4月	老年学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (26)	
					兼任	講師	根津 顕弘 ( 44 )	平成26年4月	薬理学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (26)	
					兼任	講師	森田 貴雄 ( 49 )	平成26年4月	薬理学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (26)	
					兼任	講師	堀内 正隆 ( 48 ) ( <del>47</del> )	平成26年4月	地域連携 (ｲﾝﾌﾙｴﾝｽをつくるI)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (27)	
					兼任	講師	百々 尚美 ( 45 ) ( <del>44</del> )	平成26年4月	地域連携 (ｲﾝﾌﾙｴﾝｽをつくるI)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (27)	
					兼任	講師	白鳥 亜矢子 ( 34 )	平成27年4月	英語Ⅱ (英語A)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
					兼任	講師	長谷 佳子 ( 49 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
					兼任	講師	加藤 依子 ( 39 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
					兼任	講師	川添 恵理子 ( 52 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
兼任	助教	児玉 壮志 ( 31 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 作業療法概論 作業適応学 障害者スポーツ指導論	兼任	助教	児玉 壮志 ( 32 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 作業療法概論 作業適応学 障害者スポーツ指導論 解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (26)	
兼任	助教	松岡 絳史 ( 33 )	平成25年4月	人間と思想 (心理学) 臨床心理学	兼任	講師	松岡 絳史 ( 34 )	平成25年4月	人間と思想 (心理学) 臨床心理学	平成26年4月 昇格 (26)	
兼任	助教	金澤 潤一郎 ( 38 )	平成26年4月	地域連携 (ｲﾝﾌﾙｴﾝｽをつくるI)	兼任	講師 助教	仲西 康裕 ( 38 ) ( <del>37</del> )	平成26年4月	地域連携 (ｲﾝﾌﾙｴﾝｽをつくるI)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当の変更 (26) 平成27年5月 昇格 (27)	
兼任	助教	山崎 真美 ( 36 )	平成26年4月	病理学	兼任	助教	吉田一光希 ( 32 )	平成26年4月	病理学	平成25年3月 山崎真美助教退職のため平成25年度より 担当者の変更 (25)	
					兼任	講師	佐藤 倬 ( 32 )	平成26年4月	病理学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者の変更 (26)	
					兼任	助教	高橋 昌巳 ( 36 )	平成26年4月	解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (26)	
					兼任	助教	洪井 徹 ( 41 )	平成26年4月	解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (26)	
					兼任	助教	建部 廣明 ( 33 )	平成27年4月	解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
					兼任	助教	前田 秀彦 ( 44 )	平成27年4月	基礎ミナール (コミュニケーション実践論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
					兼任	助教	黒崎 秀子 ( 43 )	平成27年4月	基礎ミナール (コミュニケーション実践論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
					兼任	助教	佐々木みづほ ( 32 )	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加 (27)	
					兼任	助教	近藤 尚也 ( 31 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	

兼任 講師	Adrian Travis Cain (36)	平成25年4月	英語 I (オーストラリア) 英語 I (オーストラリア)									
兼任 講師	Shaun Russell Hoggard (38)	平成25年4月	英語 I (オーストラリア) 英語 I (オーストラリア)									
				兼任 講師	Glenn Santos (44)	平成27年4月	英語 I (オーストラリア)				平成27年4月 教育後援体制の充実を図るため、担当 者を追加 (27)	
兼任 講師	渡辺 まどか (50)	平成26年4月	英語 II (英語)									
兼任 講師	工藤 亜希子 (35)	平成25年4月	中国語 (中国語)	兼任 講師	日野杉 匠夫 (36)	平成25年4月	中国語 (中国語)				平成25年4月 開講日時の調整が困難となったため、 担当者の変更 (25)	
				兼任 講師	呉 秀娟 (34)	平成26年4月	中国語 (中国語)				平成26年4月 開講日時の調整が困難となったため、 担当者の変更 (26)	
兼任 講師	李 俊錫 (56)	平成25年4月	韓国語 (韓国語)	兼任 講師	申 相勲 (42)	平成25年4月	韓国語 (韓国語)				平成25年4月 開講日時の調整が困難となったため、 担当者の変更 (25)	
兼任 講師	阿部 和夫 (46)	平成26年4月	ドイツ語 (ドイツ語)									
兼任 講師	倉橋 昌司 (67)	平成25年4月	生理学 I 生理学 II 生理学実習									
兼任 講師	松田 一郎 (80)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼任 講師	松田 一郎 (81)	平成25年4月					全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除 (26)	
兼任 講師	薄井 正道 (71)	平成26年4月	整形外科	兼任 講師	薄井 正道 (71)	平成26年4月					平成26年4月専任教員職任により担当 解除 (26)	
兼任 講師	加賀谷 芳夫 (56)	平成27年4月	保健医療福祉論									
兼任 講師	森 茂樹 (50)	平成27年4月	保健医療福祉論									
兼任 講師	菊地 啓介 (50)	平成27年4月	保健医療福祉論									
兼任 講師	三谷 正信 (63)	平成27年4月	画像診断学	兼任 講師	三谷 正信 (63)	平成27年4月					平成27年4月 専任教員職任により担当解除 (27)	
兼任 講師	安田 義幸 (49)	平成26年4月	義肢装具学 I 義肢装具学 II	兼任 講師	安田 義幸 (51)	平成26年4月	義肢装具学 I				開講日時の調整が困難となったため、 義肢装具学 II の担当解除 (27)	
兼任 講師	高橋 慎 (45)	平成26年4月	義肢装具学 I 義肢装具学 II	兼任 講師	高橋 慎 (46)	平成26年4月	義肢装具学 I				開講日時の調整が困難となったため、 義肢装具学 II の担当解除 (27)	
				兼任 講師	西川 幸利 (51)	平成26年4月	義肢装具学 I				教育後援体制の充実を図るため、担当 者を追加 (26)	
兼任 講師	前田 克史 (50)	平成27年4月	スポーツ障害理学療法論									
兼任 講師	大森 達也 (41)	平成27年4月	スポーツ障害理学療法論									
兼任 講師	片平 詠子 (42)	平成27年4月	ハンドセラピー	兼任 講師	越後 歩 (44)	平成27年4月	ハンドセラピー				平成27年4月 開講日時の調整が困難となったため、 担当者の変更 (27)	
兼任 講師	清川 雅文 (36)	平成27年4月	徒手療法論									
兼任 講師	大須田 祐亮 (33)	平成28年4月	障害者スポーツ指導論									
兼任 講師	岡崎 勇二 (53)	平成28年4月	障害者スポーツ指導論									

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に  
 所属している場合は、(○)学部 △(学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢  
 を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、  
 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、  
 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ 既に設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画  
 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。AO教員審査を受けずに専任  
 教員として授業等を担当することは出来ません。  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AO)」を提出し「可」の教員員決定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定  
 の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「教員審査省略」及びその変更の理由、変更年度  
 ( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の 定める定年 年齢	定年を延長 している教員数	定年規定の定め る定年年齢	定年を延長 している教員数
8	0	4	1	13	9	1	3	7	20	65	0	65	0
(7)	(0)	(2)	(1)	(10)	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 4 ]	[ 6 ]	[ 7 ]	歳	名	歳	名
						[ 1 ]	[ 4 ]	[ 6 ]	[ 7 ]				
						[ 1 ]	[ 4 ]	[ 6 ]	[ 7 ]				

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、  
 「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画  
 との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、  
 および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている  
 教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入  
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する  
 場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年 4月)	該当なし	留意事項	
設置計画履行状況 調 査 時 (25年 5月)	歯学部歯学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	平成26年度入学生より学納金総額を減額、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施した結果、24%の増加となった。
設置計画履行状況 調 査 時 (26年 5月)	既設学部等（歯学部歯学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成26年度入学生より学納金総額を減額し、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施、入学者確保に努めた。その結果、平成26年度志願者数は500名（前年比147%）入学者数71名（前年比134%、入学定員充足率89%）となった。 また、平成27年度志願者数は559名（前年比112%）、入学者数は80名（前年比113%、入学定員充足率100%）と改善した。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<リハビリテーション科学部 理学療法学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

\*FD委員会【全学組織：FD委員会規程（別添）】

\*リハビリテーション科学部FD委員会【学部内組織】

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

\*FD委員会：10回開催（平成26年度実績）

\*リハビリテーション科学部FD委員会：13回（平成26年度実績／研究科FD委員会合同開催）

##### c 委員会の審議事項等

\*FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修（基本編）実施要領 ③FD研修（テーマ編）実施要領  
 ④授業アンケート実施要領 ⑤授業公開実施要領 他

\*リハビリテーション科学部FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修セミナー開催要領 他

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

\*FD委員会関係：FD研修（基本編）、FD研修（テーマ編）、授業アンケート、授業公開

\*リハビリテーション科学部FD委員会：FD研修

##### b 実施方法

\*FD委員会関係：

・FD研修（基本編）：講義およびワークショップ【年1回・4月（1日）】

・FD研修（テーマ編）：講義およびワークショップ【年1回・8月（1日）】

・授業評価アンケート：各科目最終授業時間・OCR用紙・設問20問・5段階評価【年2回・前後期末】

・授業公開：全学部全教員対象【通年・随時】

\*リハビリテーション科学部FD委員会：FD研修セミナー【全3回】

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

\*FD委員会関係：

・FD研修（基本編）：平成26年4月5日（土） 10:00～17:00 【参加教員38名】

・FD研修（テーマ編）：平成26年8月8日（金）9:30～17:00 【参加教員：44名】

・FD講演会：平成26年9月30日（火）17:15～18:30 【参加教員：127名参加/参加学生：4名】

平成27年1月16日（金）16:30～18:00 【参加教員：94名参加】

・学長講話：平成26年10月28日（水）17:30～18:30 【参加教員：202名参加】

\*リハビリテーション科学部FD委員会：

・第1回FDセミナー：平成26年8月5日（月）16:00～17:30 【参加教員22名】

・第2回FDセミナー：平成26年10月2日（木）17:00～18:30 【参加教員18名/参加学生1名】

・第3回FDセミナー：平成26年12月11日（木）17:00～19:00 【参加教員15名】

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学においてFD研修（基本編、テーマ編）、FD講演会を開催した。それぞれ参加教員より、学部教員に内容等が報告され、各教員の授業運営や学生支援についての配慮に努めている。  
リハビリテーション科学部／研究科では、研究会参加報告会と実践者による講演形式のセミナーを実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・授業評価アンケート：実施有 ・実施時期：年2回・前後期末（各授業科目最終講義時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

・授業評価アンケートの集計・解析結果について教員に配布しており、併せて結果についてHPに掲載し学生・教職員が閲覧することが出来るようにしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、医療に対する社会のニーズの質的・量的変化に対応し、高度な医療技術と科学に基づくりハビリテーションと、それを推進するチーム医療に対応できる人材の養成を目的としている。この目的に基づき編成された授業科目については、すべて計画通り開講しており、また、これらの趣旨・目的は、引き続き広報誌やホームページのほかオープンキャンパス等でも広く周知を行っている。

平成27年度入学生については、入学倍率が、理学療法学科で4.3倍、作業療法学科が3.5倍となり、円滑に学生確保を行うことが出来た。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年8月末日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び関係大学、団体等に配布。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第3回）を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。
- ・平成29年度に第4回目の評価機関（大学基準協会）の申請を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ) ・ ( 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 年 月 日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東日本学園

## (2) 大学名

北海道医療大学

## (3) 大学の位置

〒061-0293

北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

- ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( トウゴウ シゲオキ ) 東郷重興 (平成24年10月)	( フリガナ ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	( ニイカワ ノリオ ) 新川 詔夫 (平成22年4月)		
学部長	( イズミ タダフミ ) 泉 唯史 (平成25年4月)		
学科長等		( ウエノ タケジ ) 上野武治 (平成26年4月)	新たに作業療法学科長に就任 平成26年4月1日

( ) 書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は，平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) -① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
リハビリテーション科学部 作業療法学科 学士（作業療法学）	4年	40人	2年次 5人	175人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-人 ( - ) [ - ]	-人	40人 ( - ) [ - ]	-人	40人 ( 5 ) [ - ]	-人	40人 ( 5 ) [ - ]	-人	1.13倍	-倍	
志願者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	618 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	990 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	803 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	605 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	977 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	789 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	139 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	208 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	225 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	46 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	44 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	46 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	-		1.15		1.10 ( - )		1.15 ( - )				

- (注) ・ 数字は，平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には，編入学の状況について外数で記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ] 内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は，完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 46	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 44	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( 1 ) 47	[ - ] 0	
2年次	/		[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 46	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( 1 ) 43	[ - ] ( - ) 0	
3年次			/		/		[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 45
4年次	/						/		[ - ] ( - )
計			[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 46	[ - ] ( - ) 90			[ - ] ( - ) 135

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	46人	0人	平成25年度	0人	0人		0.00 %
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	44人	1人	平成26年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名)	0.02 %
			平成27年度	0人	0人		
平成27年度 入学者	46人	0人	平成27年度	0人	0人		0 %
合計	136人	1人					0.01 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<リハビリテーション科学部 作業療法学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 教 育 科 目	基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論）	1前	1			2	20	43			兼6 兼7 兼6	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(25)
	文章指導（日本語の表現）	1前	1			2	1	1	1		兼6 兼7 兼6	全学教育科目として科目内容の見直しにより担当変更(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
	人間と思想（心理学）	1後		2							兼1	
	人間と思想（死生学入門）	1前		2							兼1	
	人間と思想（哲学入門）	1前		2							兼1	
	人間と社会（医療の経済学）	1後		2							兼1	
	人間と社会（医療の法学）	1後		2							兼1	
	人間と社会（国際社会福祉論）	未開講 -3前		2				1			兼2	履修希望者がいないため未開講(27)
	人間と文化（文化人類学）	1前		2							兼1	
	人間と文化（環境の歴史）	2前 未開講 -2前 -2後		2				1			兼1	通常開講(27) 履修希望者がいないため未開講(26) 全学教育科目の効果的配置に考慮し、開講時期を変更(26)
	人間と文化（国際文化比較論）	未開講 -2前		2							兼3	履修希望者がいないため未開講(27)
	自然と科学（生命科学）	1前	2			1						
	英語Ⅰ（オラル・イングリッシュA）	1前	1								兼4 兼3	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	英語Ⅰ（オラル・イングリッシュB）	2前	1								兼3	
	英語Ⅱ（英語A）	1後		1							兼1	
	英語Ⅱ（英語B）	2後		1							兼1	
	中国語（中国語）	1前		1							兼1	
	韓国語（韓国語）	1後		1							兼1	
	フランス語（フランス語）	未開講 -2前 -2後		1							兼1	履修希望者がいないため未開講(27) 全学教育科目の効果的配置に考慮し、開講時期を変更(26)
	ドイツ語（ドイツ語）	2前		1							兼1	
	情報処理演習（情報処理演習）	1前	1								兼1	
	統計学（基礎統計学）	3前	2								兼1	
	健康・運動科学演習（運動科学演習）	1通	2								兼3 兼2	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(25)
	自然科学入門（基礎数理）	未開講 -1前	1								兼1	履修希望者がいないため未開講(27)
	自然科学入門（物理学）	1後	2	2							兼1	
	自然科学入門（生物学）	1後	2		1							
	自然科学入門（化学）	1後	2	2							兼1	
	個体差健康科学（個体差健康科学）	1前	2					231			兼26 兼30 兼14	全学教育科目として科目内容の見直しにより担当変更(27) 全学共通科目として内容の見直しにより教員を追加(26)
	医療倫理（医療倫理）	1後	2								兼2 兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
	地域連携（地域包括ケア演習）	未開講 -3前		1		2		32			兼6	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 履修希望者がいないため未開講(27)
地域連携（メンタルヘルスをつくるI）	2前		1	1	1	04				兼6 兼3	全学教育科目として科目内容の見直しにより担当変更(27) 全学共通科目として内容の見直しにより教員を追加(26)	
多職種連携（多職種連携論）	3前	1			2	24	1	1		兼6	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	

専門基礎科目	解剖学Ⅰ	1前	1							兼3		
	解剖学Ⅱ	1後	1							兼3		
	解剖学実習	2前	1					10		兼6 兼3	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
	生理学Ⅰ	1前	1							兼1		
	生理学Ⅱ	1後	1							兼1		
	生理学実習	1後	1				2	1		兼9 兼7	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	運動生理学	2前	1							兼1		
	運動学Ⅰ	1後	1							兼1		
	運動学Ⅱ	2前	1							兼1		
	運動学実習	2後	1		1	10	2			兼6 兼3	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	老年学	2前	1							兼3 兼2	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
	人間発達学	2前	1				1			兼1		
	医学概論	1前	1		1							
	病理学	2前	1							兼2		
	整形外科学	2前	2							兼1		
	内科学	2後	2							兼3 兼4	効果的配置を考慮し変更(27)	
	神経学	2後	2		1							
	小児科学	2後	1							兼1		
	精神医学Ⅰ	2前	2		1							
	精神医学Ⅱ	2後	2		1					兼2 兼0	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	病態運動学	2後	1							兼3		
	高次脳機能障害学	2後	1		1							
	臨床心理学	2後	1							兼1		
	薬理学	2後		1						兼3 兼4	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
	公衆衛生学	2後	1							兼2		
	栄養学	2後		1						兼2 兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
	リハビリテーション概論	1前	2		2					兼1		
	理学療法概論	1前		2						兼2		
	基礎理学療法学	1後		2						兼9 兼6 兼5	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27) 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
	保健医療福祉論	3前	1							兼4		
	障がい者当事者論	2前	1				1			兼1		
	積雪寒冷地の生活と諸問題	3通	1				10			兼1	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	専門	作業療法概論	1前	2		2	2+	4	1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
		職業倫理・管理学	4後	1		1						
		作業療法技術学演習Ⅰ	2前	1		2	3+	4	1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
		作業療法技術学演習Ⅱ	2後	1		2	1	4	1			
作業療法研究法		3前	1		2	1						
評価学概論		2前	1				3	1				
身体機能評価学Ⅰ		2後	1		1		2					
身体機能評価学Ⅱ		3前	1		1	10	2				教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
精神機能評価学		2後	1		1	1		1				
発達系評価学		2後	1					1				
評価学実習		2後	1		2	2+	4	1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
画像診断学		3後		1						兼1		
日常生活援助学		2後	2					2		兼1 兼0	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	
日常生活援助学演習		3前	1					2				
身体障害作業療法学		3前	2		1	10					教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
身体障害作業療法学演習		3後	1		1	10	40				教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
精神障害作業療法学		3前	2		1	10		1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
精神障害作業療法学演習		3後	1		1	10		1		兼1 兼0	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
発達障害作業療法学		3前	2					1				
発達障害作業療法学演習		3後	1					1				
老年期障害作業療法学	3前	2		1								
老年期障害作業療法学演習	3後	1		1		10				教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)		
高次脳機能障害作業療法学	3前	2			10	1				教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)		



科 目	高次脳機能障害作業療法学演習	3後	1				1 0	1				教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	義肢装具学	3後	2					1				兼5 兼4 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	作業適用学	1後	2			2	2 +	4	1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	音楽療法	3前		1			2 +					教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	ハンドセラピー	3前		1								兼1	
	徒手療法論	3後		1								兼1	
	呼吸リハビリテーション学	3前		1			0 +	0 +				兼1 効果的配置を考慮し変更(27)	
	神経筋促進治療論	3後		1			1	1 0				兼1 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	園芸療法	3前		1				1		1		兼1	
	地域作業療法学	3前	2						2	1 0		兼1 教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	地域作業療法学演習	3後	1						2				
	リハビリテーション工学	3前	1				1		2 +			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)	
	就業援助論	4後	1				1						
	介護技術方法論	3前		1								兼2	
	臨床見学	1前	1				4 2	3 +	6 4	1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	評価実習	2後	4				4 2	2 +	5 4	1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	総合臨床実習Ⅰ	3後	9				2	2	4	1			
	総合臨床実習Ⅱ	4前	9				2	2	4	1			
	作業療法学総合講義	4後	1				4	2	4	1			
	作業療法研究セミナーⅠ	3通	2				4	3 2	5 4	1			教育指導体制の充実を図るため教員を追加(27)
	作業療法研究セミナーⅡ	4後	2				4	2	4	1			
	択自 科目選 目選	音楽療法各論	3前			1 0		2 0					教育の充実を図るため自由択科目を追加(27)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
76	32	0	108	76	32	1 0	109 108	音楽療法各論を追加(27)
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  共用：歯学部附属歯科 衛生士専門学校収容定 員150名 面積基準なし		
	校 舎 敷 地	64,222.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	65,872.53㎡			
	運 動 場 用 地	27,800.00㎡	0㎡	0㎡	27,800.00㎡			
	小 計	92,022.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	93,672.53㎡			
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	0㎡	57,315.74㎡			
	合 計	149,338.27㎡	1,650.00㎡	0㎡	150,988.27㎡			
(2) 校 舎	専 用	72,110.27㎡ 72-209-57㎡	0㎡	0㎡	72,110.27㎡ 72-209-57㎡	大学全体  校舎増築部分の登記に より面積変更(25)		
	(72,110.27㎡) (72-209-57㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(72,110.27㎡) (72-209-57㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	48 43室	51 34室	51 44室	2 1室	大学全体  改修による増室(27)		
				(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体  教員増による増室(27)		
	リハビリテーション科学部 理学・作業療法学科			18 16 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	機械・器具数の増加及び 標本数の廃棄による減少 (26) (27) 機械・器具・標本数の増 加(25) 図書は電子ブックを含む (26) 学術雑誌は、冊子から電 子ジャーナルへ移行し、利便 性を高めている(26)
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	点	点	点			
	リハビリテーション科学部							
	計							
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体  閲覧席を増設したため (25) (27)	
	4,866.96 ㎡		461 445 437 席		275,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体
	1,746.49㎡		屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート(27,800㎡) フィットネスセンター(411㎡)					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	開設年度	開設年度	完成年度	圖書学部全体  共同研究費については大学全体	
		教員1人当り研究費等	451千円	448千円	図書購入費	4,200千円		2,040千円
	共同研究費等	23,000千円	23,000千円	設備購入費	246,402千円	123,304千円	20,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャーナル・データ ベースの整備費(運用コストを 含む)を含む。
		1,325千円	1,325千円	1,325千円	1,325千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金・雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
薬学部 薬学科	6	160	3年次 10	980	学士 (薬学)	1.15	平成18年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	
歯学部 歯学科	6	80	—	520	学士 (歯学)	0.66	昭和53年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	
看護福祉学部 看護学科	4	100	3年次 9	418	学士 (看護学)	1.11	平成5年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	
臨床福祉学科	4	80	3年次 9	338	学士 (臨床福祉学)	1.00	平成14年度		
心理科学部 臨床心理学科	4	75	3年次 2	304	学士 (臨床心理学)	0.99	平成14年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	
言語聴覚療法学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚療法学)	—	平成14年度		平成27年度より学生募集停止
リハビリテーション科学部 理学療法学科	4	80	2年次 5	250	学士 (理学療法学)	1.12	平成25年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1758番地	
作業療法学科	4	40	2年次 5	130	学士 (作業療法学)	1.13	平成25年度		
言語聴覚療法学科	4	60	—	60	学士 (言語聴覚療法学)	1.15	平成27年度		
薬学研究科 生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士 (生命薬科学)	0.00	平成22年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	3年課程平成24年度より学生募集停止
薬学専攻博士後期課程(3年)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	昭和57年度		
薬学専攻博士後期課程(4年)	4	3	—	12	博士 (薬学)	1.08	平成24年度		
歯学研究科 歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.50	昭和63年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	
看護福祉学研究科 看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	1.10	平成9年度		
看護学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	1.66	平成11年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	
臨床福祉学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.90	平成16年度		
臨床福祉学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.16	平成16年度		
心理科学研究科 臨床心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (臨床心理学)	1.00	平成16年度		
臨床心理学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.83	平成16年度	北海道札幌市北区あい の里2条5丁目	
言語聴覚学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (言語聴覚学)	0.10	平成18年度		
言語聴覚学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (言語聴覚学)	0.00	平成18年度		
リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成25年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地	
リハビリテーション科学専攻博士課程	3	2	—	2	博士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成27年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



専	准教授	浅野 雅子 ( 38 )	平成25年4月	<p>文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 作業療法研究法 精神機能評価学 評価学実習 作業適用学 音楽療法 園芸療法 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ</p>	専	准教授	浅野 雅子 ( 40 )	平成25年4月	<p>文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 作業療法研究法 精神機能評価学 評価学実習 作業適用学 音楽療法 園芸療法 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ <b>精神障害作業療法学</b> <b>精神障害作業療法学演習</b> <b>音楽療法各論</b></p>	<p>教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)</p> <p>平成27年4月 教育の充実を図るため、自由選択科目を追加 (27)</p>
専	准教授	鈴木 由美 ( 53 )	平成27年4月	<p>総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ</p>	専	准教授	鈴木 由美 ( 53 )	平成27年4月	<p>総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ <b>基礎セミナー（コミュニケーション実践論）</b> <b>多職種連携（多職種連携論）</b> <b>運動学実習</b> <b>作業療法概論</b> <b>作業適用学</b> <b>臨床見学</b> <b>作業療法技術学演習Ⅰ</b> <b>評価学実習</b> <b>身体機能評価学Ⅱ</b> <b>身体障害作業療法学</b> <b>身体障害作業療法学演習</b> <b>高次脳機能障害作業療法学</b> <b>高次脳機能障害作業療法学演習</b> <b>神経筋促進治療論</b></p>	<p>教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)</p>
					専	准教授	近藤 里美 ( 53 )	平成27年4月	<p><b>基礎セミナー（コミュニケーション実践論）</b> <b>臨床見学</b> <b>作業療法技術学演習Ⅰ</b> <b>評価学実習</b> <b>作業療法研究セミナーⅠ</b> <b>音楽療法</b> <b>音楽療法各論</b></p>	<p>平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、教員を追加 (27)</p> <p>平成27年4月 教育の充実を図るため、自由選択科目を追加 (27)</p>
専	講師	浅野 葉子 ( 40 )	平成25年4月	<p>文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 運動学実習 障がい者当事者論 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 身体機能評価学Ⅰ 身体機能評価学Ⅱ 評価学実習 日常生活援助学 日常生活援助学演習 作業適用学 地域作業療法学 地域作業療法学演習 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ</p>	専	講師	浅野 葉子 ( 43 ) ( <del>42</del> )	平成25年4月	<p>文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 運動学実習 障がい者当事者論 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 身体機能評価学Ⅰ 身体機能評価学Ⅱ 評価学実習 日常生活援助学 日常生活援助学演習 作業適用学 地域作業療法学 地域作業療法学演習 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ <b>個体差健康科学（個体差健康科学）</b> <b>積雪寒冷地の生活と諸問題</b> <b>身体障害作業療法学演習</b></p>	<p>全学共通科目として科目内容の見直しにより履修者を追加 (28)</p> <p>教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)</p>

専	講師	朝日 まどか ( 37 )	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) 生理学実習 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 評価学概論 評価学実習 日常生活援助学 日常生活援助学演習 作業適用品 地域作業療法学 地域作業療法学演習 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ	専	講師	朝日 まどか ( 39 )	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) 生理学実習 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 評価学概論 評価学実習 日常生活援助学 日常生活援助学演習 作業適用品 地域作業療法学 地域作業療法学演習 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ <b>身体障害作業療法学演習</b> <b>老年期障害作業療法学演習</b>	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
専	講師	澤村 大輔 ( 34 )	平成26年4月	地域連携(地域包括ケア演習) 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 評価学概論 身体機能評価学Ⅰ 身体機能評価学Ⅱ 評価学実習 高次脳機能障害作業療法学 高次脳機能障害作業療法学演習 義肢装具学 リハビリテーション工学 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ	専	講師	澤村 大輔 ( 36 ) <del>( 36 )</del>	平成26年4月	地域連携(地域包括ケア演習) 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 評価学概論 身体機能評価学Ⅰ 身体機能評価学Ⅱ 評価学実習 高次脳機能障害作業療法学 高次脳機能障害作業療法学演習 義肢装具学 リハビリテーション工学 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ 個体差健康科学(個体差健康科学) <b>身体障害作業療法学演習</b>	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(28) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
兼任	講師	澤村 大輔 ( 33 )	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 生理学実習 作業療法概論 作業適用品 臨床見学	専	講師	澤村 大輔 ( 36 )	平成26年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 生理学実習 作業療法概論 作業適用品 臨床見学	平成26年4月 専任講師就任(27) ※前年度報告書提出
専	講師	千葉 芳広 ( 45 )	平成25年4月	人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(環境の歴史) 個体差健康科学(個体差健康科学) 地域連携(「学びあひをつくる」)	専	講師	千葉 芳広 ( 47 ) <del>( 45 )</del>	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(環境の歴史) <b>個体差健康科学(個体差健康科学)</b> <b>地域連携(「学びあひをつくる」)</b> 臨床見学 評価実習 <b>作業療法研究セミナーⅠ</b>	平成25年4月 教育指導体制の充実を図るため基礎セミナー(コミュニケーション実践論)に担当者を追加(25) 全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(27) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
専	講師	木村 恵 ( 39 )	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) 運動学実習 人間発達学 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 評価学概論 発達系評価学 評価学実習 発達障害作業療法学 発達障害作業療法学演習 作業適用品 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ	専	講師	木村 恵 ( 41 )	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) 運動学実習 人間発達学 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 評価学概論 発達系評価学 評価学実習 発達障害作業療法学 発達障害作業療法学演習 作業適用品 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ <b>身体障害作業療法学演習</b> <b>リハビリテーション工学</b>	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)

専 助教	児玉 壮志 ( 31 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 評価学概論 精神機能評価学 評価学実習 精神障害作業療法学 精神障害作業療法学演習 作業適用学 園芸療法 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II	専 助教	児玉 壮志 ( 33 ) ( <del>32</del> )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 評価学概論 精神機能評価学 評価学実習 精神障害作業療法学 精神障害作業療法学演習 作業適用学 園芸療法 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II 解剖学実習 地域作業療法学	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (26) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
兼担 教授	新川 詔夫 ( 70 )	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼担 教授	新川 詔夫 ( 71 )	平成25年4月		金学共選科目として科目内容の見直しにより担当解除 (26)
兼担 教授	泉 唯史 ( 57 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) リハビリテーション概論 理学療法概論	兼担 教授	泉 唯史 ( 58 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) リハビリテーション概論 理学療法概論 個体差健康科学 (個体差健康科学)	金学共選科目として科目内容の見直しにより担当の追加 (26)
兼担 教授	小島 悟 ( 43 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 運動学 I 運動学 II 運動学実習 基礎理学療法学					
兼担 教授	鈴木 英樹 ( 46 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 理学療法概論 保健医療福祉論 障がい者当事者論 積雪寒冷地の生活と諸問題	兼担 教授	鈴木 英樹 ( 48 ) ( <del>47</del> )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 理学療法概論 保健医療福祉論 障がい者当事者論 積雪寒冷地の生活と諸問題 基礎理学療法学 個体差健康科学 (個体差健康科学)	教育指導体制の充実を図るため担当者を追加 (26) 担任教員の見直しにより担当解除 (27) 金学共選科目として科目内容の見直しにより担当の追加 (26) 金学共選科目として科目内容の見直しにより担当解除 (27)
兼担 教授	吉田 晋 ( 46 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学	兼担 教授 兼任 講師	吉田 晋 ( 48 ) ( <del>46</del> )	平成25年10月 平成25年4月 平成25年10月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学	平成25年4月 初任職により、兼任が適任 (26) 平成25年10月 兼任教授就任 (27) ※前年度報告書提出
兼担 教授	堀本 佳誉 ( 38 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 人間発達学 病態運動学 基礎理学療法学	兼担 教授	堀本 佳誉 ( 39 )	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 人間発達学 病態運動学 基礎理学療法学 解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため担当者を追加 (26)
兼担 教授	武田 涼子 ( 43 )	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論) 義肢装具学					
兼任 講師	武田 涼子 ( 41 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 運動学実習 病態運動学 基礎理学療法学	兼担 教授	武田 涼子 ( 43 )	平成27年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 運動学実習 病態運動学 基礎理学療法学	平成27年4月 兼任教授就任 (27)
兼担 教授	高橋 尚明 ( 43 )	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 解剖学 I 解剖学 II 解剖学実習 基礎理学療法学 義肢装具学 呼吸リハビリテーション学 神経防犯通治療論					
				兼担 教授	青木 光広 ( 60 )	平成26年4月	整形外科学 画像診断学	平成26年4月 教育指導体制の充実を図るため、兼任教員が適任 (27) ※前年度報告書提出 平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、担当者を変更 (27)



兼担	教授	山口 明彦 ( 50 )	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 健康・運動科学演習(運動科学演習) 多職種連携(多職種連携論)						
兼担	教授	江口 正尊 ( 64 )	平成25年4月	人間と思想(死生学入門) 医療倫理(医療倫理)	兼担	講師	磯部 大一 ( 34 )	平成26年4月	人間と思想(死生学入門) 医療倫理(医療倫理)	平成26年3月 江口正尊教授退職のため平成26年度より担当者を変更(26)
兼担	教授	小野 滋男 ( 64 )	平成25年4月	人間と思想(哲学入門)	兼担	講師	森元 良太 ( 38 )	平成26年4月	人間と思想(哲学入門) 医療倫理(医療倫理) 地域連携(『F' i h h 7』をつくる I)	平成26年3月 小野滋男教授退職のため平成26年度より担当者を変更(26) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(26) 金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26)
兼担	教授	半田 祐二郎 ( 60 )	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(国際文化比較論)			後任未定		個体差健康科学(個体差健康科学) 人間と社会(国際社会福祉論)	平成27年3月 半田祐二郎教授退職のため担当者を調整中(27)
兼担	教授	Howard Neal Tarnoff ( 60 )	平成25年4月	人間と文化(国際文化比較論) 英語 I (オーストラリア) 英語 I (オーストラリア)			後藤 道 ( 66 )	平成27年4月	人間と文化(国際文化比較論)	平成27年3月 半田祐二郎教授退職のため平成27年度より担当者の変更(27)
兼担	教授	森田 勲 ( 58 )	平成25年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)						
兼担	教授	塚越 博史 ( 52 )	平成25年4月	英語 II (英語 A)						
兼担	教授	橋本 昇 ( 63 )	平成25年4月	自然科学入門(物理学)	兼担	准教授	長谷川 敦司 ( 51 )	平成27年4月	自然科学入門(物理学)	平成27年3月 橋本 昇教授退職のため平成27年度より担当者の変更(27)
兼担	教授	黒澤 隆夫 ( 62 )	平成25年4月	自然科学入門(化学)	兼担	講師	鈴木 喜一 ( 44 )	平成27年 4 月	自然科学入門(化学)	担当教員の見直しにより担当者の変更(27)
兼担	教授	坂倉 康則 ( 58 )	平成25年4月	解剖学 I 解剖学 II 解剖学実習						
兼担	教授	入江 一元 ( 52 )	平成25年4月	解剖学 I 解剖学 II 解剖学実習						
兼担	教授	石井 久淑 ( 42 )	平成25年4月	生理学実習						
兼担	教授	山田 律子 ( 47 )	平成26年4月	老年学						
兼担	教授	安彦 善裕 ( 53 )	平成26年4月	病理学						
兼担	教授	冢子 正裕 ( 59 )	平成26年4月	内科学						
兼担	教授	伊藤 昭英 ( 53 )	平成26年4月	内科学			後任未定		内科学	平成27年3月 伊藤昭英教授退職のため担当者を調整中(27)
兼担	教授	谷村 明彦 ( 51 )	平成26年4月	薬理学						
兼担	教授	千葉 逸朗 ( 58 )	平成26年4月	公衆衛生学						
兼担	教授	廣重 力 ( 82 )	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	廣重 力 ( 83 )	平成25年4月		金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(26)
兼担	教授	坂野 雄二 ( 62 )	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	坂野 雄二 ( 64 )	平成25年4月		金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(27)
兼担	教授	中山 英二 ( 54 )	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	中山 英二 ( 56 )	平成25年4月		金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(27)
兼担	教授	小林 正伸 ( 60 )	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	小林 正伸 ( 62 )	平成25年4月		金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(27)
兼担	教授	向谷地 生良 ( 57 )	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	教授	向谷地 生良 ( 58 )	平成25年4月		金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(26)
					兼担	教授	唯野 貴司 ( 64 ) (←63→)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26) 金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(27)
					兼担	教授	越野 寿 ( 53 )	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26)
					兼担	教授	齊藤 正人 ( 47 )	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26)
					兼担	教授	大友 芳恵 ( 56 )	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26)
					兼担	教授	志水 幸 ( 51 ) (←60→)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26) 金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(27)
					兼担	教授	今井 智子 ( 60 )	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26)
					兼担	教授	亀井 尚 ( 62 )	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26)
					兼担	教授	木下 憲治 ( 58 ) (←57→)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26) 金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(27)
					兼担	教授	堀内 ゆかり ( 51 ) (←59→)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26) 金学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(27)
					兼担	教授	富家 直明 ( 44 )	平成26年4月	地域連携(『F' i h h 7』をつくる I)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(26)
					兼担	教授	鈴木 一郎 ( 49 )	平成27年4月	地域連携(『F' i h h 7』をつくる I)	金学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(27)
					兼担	教授	下村 敦司 ( 47 )	平成27年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)

				兼任 教授	和田 啓爾 (62)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 教授	遠藤 泰 (56)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 教授	斎藤 隆史 (50)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 教授	平 典子 (62)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 教授	中野 倫仁 (57)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 教授	高橋 憲男 (68)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 教授	大原 裕介 (35)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 教授	三國 久美 (54)	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
				兼任 教授	大友 芳恵 (57)	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
兼任 准教授	花洲 肇也 (46)	平成25年4月	人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (文化人類学) 人間と文化 (国際文化比較論) 個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼任 教授	花洲 肇也 (46)	平成25年4月	人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (文化人類学) 人間と文化 (国際文化比較論) 個体差健康科学 (個体差健康科学)	平成25年4月 昇格 (26)
兼任 准教授	柳田 寛 (63)	平成26年4月	フランス語 (フランス語)	兼任 講師	柳田 寛 (64)	平成27年4月	フランス語 (フランス語)	平成27年3月 柳田 寛准教授退職のため平成27年度より兼任講師として担当 (27)
兼任 准教授	二瓶 裕之 (47)	平成25年4月	情報処理演習 (情報処理演習)	兼任 教授	二瓶 裕之 (50) (←49→)	平成25年4月	情報処理演習 (情報処理演習) 自然科学入門 (基礎数理)	平成26年4月 昇格 (26) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
兼任 准教授	石田 朗 (48)	平成25年4月	統計学 (基礎統計学) 自然科学入門 (基礎数理)	兼任 講師	島山 彰文 (44)	平成27年4月	情報処理演習 (情報処理演習) 統計学 (基礎統計学)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
兼任 准教授	長谷川 聡 (58)	平成26年4月	地域連携 (メディア制作をつくるI)	兼任 講師	橋本 昇 (66)	平成27年4月	自然科学入門 (基礎数理)	平成27年3月 石田 朗准教授退職のため平成27年度より担当者の変更 (27)
兼任 准教授	長田 和実 (53)	平成25年4月	生理学実習					
兼任 准教授	萩野 悦子 (49)	平成26年4月	老年学					
兼任 准教授	高橋 伸彦 (44)	平成26年4月	内科学					
兼任 准教授	太田 亨 (49)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 小児科学	兼任 教授	太田 亨 (51) (←50→)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 小児科学	平成25年7月 昇格 (26) 全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
兼任 准教授	北市 伸義 (44)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼任 教授	北市 伸義 (44)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	平成25年7月 昇格 (26) 全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (28)
				兼任 准教授	後任未定 千葉 薫 (←61→)	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (28) 平成27年3月 千葉 薫准教授退職のため担当者を調整中 (27)
				兼任 准教授	竹生 礼子 (54)	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (28)
				兼任 准教授	田村 至 (54) (←53→)	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) リハビリテーション概論	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (28) 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
				兼任 准教授	玉重 詠子 (55)	平成26年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (28)
				兼任 准教授	榊原 健一 (47)	平成27年4月	文章指導 (日本語の表現)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
				兼任 准教授	森 伸幸 (52)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 准教授	阿部 博史 (41)	平成27年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加 (27)
				兼任 准教授	巻 康弘 (48)	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
				兼任 准教授	八木 こずえ (53)	平成27年4月	精神医学Ⅱ	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
				兼任 准教授	佐藤 園美 (54)	平成27年4月	精神医学Ⅱ	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加 (27)
兼任 講師	宮崎 充功 (34)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 運動生理学 運動学実習	兼任 准教授	宮崎 充功 (36)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 運動生理学 運動学実習	平成27年4月 昇格 (27)
兼任 講師	澤田 篤史 (35)	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)					
兼任 講師	澤田 篤史 (33)	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 運動学実習	兼任 兼任 講師	澤田 篤史 (36) (←35→)	平成27年4月 平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 運動学実習 栄養学	平成27年4月 澤田 篤史准教授退職 (27) 担当教員の見直しにより担当者を追加 (27) 教育指導体制の充実を図るため担当者を追加 (26)

兼担	講師	長谷川 純子 (32)	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) 生理学実習						
兼担	講師	櫻井 潤 (35)	平成25年4月	人間と社会(医療の経済学)						
兼担	講師	森元 拓 (43)	平成25年4月	人間と社会(医療の法学)	兼担	講師	姫嶋 瑞穂 (36)	平成25年4月	人間と社会(医療の法学)	平成26年8月 補充・教職指導のため平成25年度より 担当者の変更(25)
兼担	講師	新岡 文治 (38)	平成26年4月	地域連携(フィールドワークをつくるI)	兼担	講師	新岡 文治 (38)	平成26年4月		全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除(26)
兼担	講師	岸本 憲明 (43)	平成26年4月	内科学	兼任	講師	後任未定	平成26年4月	内科学	平成26年3月 岸本憲明講師退職のため平成26年度より 担当者の変更(26) 平成26年3月 平成26年度は教職正職兼任講師が担当 (27) 平成27年4月 開講日曜の調整が困難となったため、 担当者を調整中(27)
兼担	講師	水谷 博幸 (53)	平成26年4月	公衆衛生学						
兼担	講師	荒川 俊哉 (50)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 栄養学	兼担	准教授	荒川 俊哉 (52)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 栄養学	平成26年7月 昇格(27)
兼担	講師	大澤 宣明 (44)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	准教授	大澤 宣明 (45)	平成25年4月		平成26年4月 昇格(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除(26)
兼担	講師	浜上 尚也 (49)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	兼担	准教授	浜上 尚也 (50)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	平成26年4月 昇格(26)
					兼担	講師	櫻田 渉 (47)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加(26)
					兼担	講師	吉田 栄一 (56) (←55)	平成26年4月	<del>個体差健康科学(個体差健康科学)</del>	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除(27)
					兼担	講師	豊下 祥史 (40)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加(26)
					兼担	講師	宮崎 友香 (41)	平成26年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加(26)
					兼担	講師	内ヶ島 伸也 (41)	平成26年4月	老年学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(26)
					兼担	講師	根津 顕弘 (44)	平成26年4月	薬理学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(26)
					兼担	講師	森田 貴雄 (49)	平成26年4月	薬理学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(26)
					兼担	講師	堀内 正隆 (48) (←47)	平成26年4月	<del>地域連携(フィールドワークをつくるI)</del>	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除(27)
					兼担	講師	百々 尚美 (45) (←44)	平成26年4月	<del>地域連携(フィールドワークをつくるI)</del>	全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加(26) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当解除(27)
					兼担	講師	佐々木 祐二 (44)	平成27年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 義肢装具学 徒手療法論 個体差健康科学(個体差健康科学)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27) 全学共通科目として科目内容の見直し により担当者を追加(27)
					兼担	講師	金澤 潤一郎 (39)	平成27年4月	精神障害作業療法実習	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
					兼担	講師	白鳥 亜矢子 (34)	平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
					兼担	講師	長谷 佳子 (49)	平成27年4月	多職種連携(多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
					兼担	講師	加藤 依子 (39)	平成27年4月	多職種連携(多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
					兼担	講師	川添 恵理子 (52)	平成27年4月	多職種連携(多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
兼担	助教	大塚 裕之 (29)	平成25年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習) 生理学実習 運動学実習						
					兼担	助教	井上 恒志郎 (29) (←27)	平成25年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習) 文章指導(日本語の表現)	平成25年4月 教育指導体制の充実を図るため職員を 追加(25) 教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
					兼担	助教	中村 宅雄 (37)	平成27年4月	運動学実習 基礎理学療法学	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
					兼担	助教	山根 裕司 (35)	平成27年4月	生理学実習 基礎理学療法学	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
					兼担	助教	大内 みふか (33)	平成27年4月	生理学実習 基礎理学療法学	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、担当 者を追加(27)
兼担	助教	松岡 敏史 (33)	平成25年4月	人間と思想(心理学) 臨床心理学	兼担	講師	松岡 敏史 (34)	平成25年4月	人間と思想(心理学) 臨床心理学	平成26年4月 昇格(26)
兼担	助教	金澤 潤一郎 (38)	平成26年4月	地域連携(フィールドワークをつくるI)	兼担	講師 助教	仲西 康裕 (38) (←37)	平成26年4月	地域連携(フィールドワークをつくるI)	全学共通科目として科目内容の見直し により担当の変更(26) 平成27年5月 昇格(27)
兼担	助教	山崎 真美 (36)	平成26年4月	病理学	兼担	助教	吉田 光希 (32) (←31)	平成26年4月	病理学	平成25年3月 山崎真美助教退職のため平成26年度より 担当者の変更(25)
兼担	助教	池森 康裕 (40)	平成27年4月	介護技術方法論	兼担	講師	佐藤 倅 (32)	平成26年4月	病理学	教育指導体制の充実を図るため、担当 者の変更(26)
兼担	助教	高橋 由紀 (38)	平成27年4月	介護技術方法論						

					兼任 助教	高橋 昌巳 (36)	平成26年4月	解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(28)
					兼任 助教	浪井 徹 (41)	平成26年4月	解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(28)
					兼任 助教	建部 廣明 (33)	平成27年4月	解剖学実習	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
					兼任 助教	前田 秀彦 (44)	平成27年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
					兼任 助教	黒崎 芳子 (43)	平成27年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
					兼任 助教	佐々木みづほ (32)	平成27年4月	個性健康科学(個性健康科学)	全学共通科目として科目内容の見直しにより担当者を追加(27)
					兼任 助教	近藤 尚也 (31)	平成27年4月	多職種連携(多職種連携論)	教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
兼任 講師	Adrian Travis Cain (36)	平成25年4月	英語Ⅰ(オーストラリア)						
兼任 講師	Shaun Russell Hoggard (38)	平成25年4月	英語Ⅰ(オーストラリア)						
					兼任 講師	Glenn Santos (44)	平成27年4月	英語Ⅰ(オーストラリア)	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27)
兼任 講師	渡辺 まどか (50)	平成26年4月	英語Ⅱ(英語)						
兼任 講師	工藤 亜希子 (35)	平成25年4月	中国語(中国語)	兼任 講師	白野村 匡大 (36)	平成25年4月	中国語(中国語)	平成25年4月 開講日曜の履修が困難となったため、担当者の変更(25)	
				兼任 講師	呉 秀晴 (34)	平成26年4月	中国語(中国語)	平成26年4月 開講日曜の履修が困難となったため、担当者の変更(24)	
兼任 講師	李 俊鎭 (56)	平成25年4月	韓国語(韓国語)	兼任 講師	申 相熙 (42)	平成25年4月	韓国語(韓国語)	平成25年4月 開講日曜の履修が困難となったため、担当者の変更(25)	
兼任 講師	阿部 和夫 (46)	平成26年4月	ドイツ語(ドイツ語)						
兼任 講師	倉橋 昌司 (67)	平成25年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習						
兼任 講師	松田 一郎 (80)	平成25年4月	個性健康科学(個性健康科学)	兼任 講師	松田 一郎 (81)	平成25年4月		全学共通科目として科目内容の見直しにより担当を解除(28)	
兼任 講師	薄井 正道 (71)	平成26年4月	整形外科学	兼任 講師	薄井 正道 (71)	平成26年4月		平成26年4月兼担教員就任により担当を解除(26)	
兼任 講師	加賀谷 芳夫 (56)	平成27年4月	保健医療福祉論						
兼任 講師	森 茂樹 (50)	平成27年4月	保健医療福祉論						
兼任 講師	菊地 啓介 (49)	平成26年4月	保健医療福祉論 日常生活援助学 地域作業療法学						
兼任 講師	三谷 正信 (63)	平成27年4月	画像診断学	兼任 講師	三谷 正信 (63)	平成27年4月		平成27年4月 専任先広家担教員就任により担当を解除(27)	
兼任 講師	安田 義幸 (50)	平成27年4月	義肢装具学						
兼任 講師	高橋 慎 (45)	平成27年4月	義肢装具学						
				兼任 講師	越後 歩 (44)	平成27年4月	義肢装具学 ハンドセラピー	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、担当者を追加(27) 平成27年4月 開講日曜の履修が困難となったため、担当者の変更(27)	
兼任 講師	片平 詠子 (42)	平成27年4月	ハンドセラピー						
兼任 講師	清川 雅文 (36)	平成27年4月	徒手療法論						
兼任 講師	杉原 式穂 (43)	平成27年4月	園芸療法						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学級等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更し又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **履修で設置された学級等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置、学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として履修等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	2	5	1	12	4	3 2	5	1	13 12	65	1	65	1
(3)	(1)	(4)	(1)	(9)	[ 0 ]	<del>(+0)</del> [ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	<del>(+0)</del> [ 1 ]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、( )内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

]

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年 4月)	該当なし	留意事項	
設置計画履行状況 調 査 時 (25年 5月)	歯学部歯学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	平成26年度入学生より学納金総額を減額、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施した結果、24%の増加となった。
設置計画履行状況 調 査 時 (26年 5月)	既設学部等（歯学部歯学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成26年度入学生より学納金総額を減額し、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施、入学者確保に努めた。その結果、平成26年度志願者数は500名（前年比147%）入学者数71名（前年比134%、入学定員充足率89%）となった。 また、平成27年度志願者数は559名（前年比112%）、入学者数は80名（前年比113%、入学定員充足率100%）と改善した。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<リハビリテーション科学部 作業療法学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

\*FD委員会【全学組織：FD委員会規程（別添）】

\*リハ<sup>レ</sup>リテーション科学部FD委員会【学部内組織】

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

\*FD委員会：10回開催（平成26年度実績）

\*リハ<sup>レ</sup>リテーション科学部FD委員会：13回（平成26年度実績／研究科FD委員会合同開催）

##### c 委員会の審議事項等

\*FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修（基本編）実施要領 ③FD研修（テーマ編）実施要領  
 ④授業アンケート実施要領 ⑤授業公開実施要領 他

\*リハ<sup>レ</sup>リテーション科学部FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修セミナー開催要領 他

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

\*FD委員会関係：FD研修（基本編）、FD研修（テーマ編）、授業アンケート、授業公開

\*リハ<sup>レ</sup>リテーション科学部FD委員会：FD研修

##### b 実施方法

\*FD委員会関係：

・FD研修（基本編）：講義およびワークショップ【年1回・4月（1日）】

・FD研修（テーマ編）：講義およびワークショップ【年1回・8月（1日）】

・授業評価アンケート：各科目最終授業時間・OCR用紙・設問20問・5段階評価【年2回・前後期末】

・授業公開：全学部全教員対象【通年・随時】

\*リハ<sup>レ</sup>リテーション科学部FD委員会：FD研修セミナー【全3回】

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

\*FD委員会関係：

・FD研修（基本編）：平成26年4月5日（土） 10:00～17:00 【参加教員38名】

・FD研修（テーマ編）：平成26年8月8日（金）9:30～17:00 【参加教員：44名】

・FD講演会：平成26年9月30日（火）17:15～18:30 【参加教員：127名参加/参加学生：4名】

平成27年1月16日（金）16:30～18:00 【参加教員：94名参加】

・学長講話：平成26年10月28日（水）17:30～18:30 【参加教員：202名参加】

\*リハ<sup>レ</sup>リテーション科学部FD委員会：

・第1回FDセミナー：平成26年8月5日（月）16:00～17:30 【参加教員22名】

・第2回FDセミナー：平成26年10月2日（木）17:00～18:30 【参加教員18名/参加学生1名】

・第3回FDセミナー：平成26年12月11日（木）17:00～19:00 【参加教員15名】

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学においてFD研修（基本編、テーマ編）、FD講演会を開催した。それぞれ参加教員より、学部教員に内容等が報告され、各教員の授業運営や学生支援についての配慮に努めている。  
リハビリテーション科学部／研究科では、研究会参加報告会と実践者による講演形式のセミナーを実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・ 授業評価アンケート：実施有 ・ 実施時期：年2回・前後期末（各授業科目最終講義時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

・ 授業評価アンケートの集計・解析結果について教員に配布しており、併せて結果についてHPに掲載し  
学生・教職員が閲覧することが出来るようにしている。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、医療に対する社会のニーズの質的・量的変化に対応し、高度な医療技術と科学に基づくリハビリテーションと、それを推進するチーム医療に対応できる人材の養成を目的としている。この目的に基づき編成された授業科目については、すべて計画通り開講しており、また、これらの趣旨・目的は、引き続き広報誌やホームページのほかオープンキャンパス等でも広く周知を行っている。

平成27年度入学生については、入学倍率が、理学療法学科で4.3倍、作業療法学科が3.5倍となり、円滑に学生確保を行うことが出来た。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 平成27年8月末日 公表予定

b 公表方法

・ 自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び関係大学、団体等に配布。

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第3回）を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。

・ 平成29年度に第4回目の評価機関（大学基準協会）の申請を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 年 月 日 )